

# 本物の住まいづくりとは・・・その決め手がわかる

「大」が「小」を喰い、それによって「大」が生き残る構図があらゆる業界で進行しています。私達地場の建築関連業者も例外ではなく、大手ハウスメーカーやパワービルダーの猛攻にさらされ、年々生きていくことが難しくなっているのが実情ではないでしょうか。その中で小さいながらもきらりと光り、ますます元気に隆々と仕事を続けている同業者がいます。何が違うのでしょうか。今は亡き生粋の大工職人富田辰雄は、50年も前に地場の業者さんが零細であっても、地域の信頼を勝ち取り生きていける安定経営の方法をシステム化しました。今回のセミナーは富田辰雄が構築した「幸福を生む住まい」の諸システムを公開し、私達地場の業者がこれからもますます健全に楽しく生きていくための方法を探るものです。「地場工務店が生きていけるかどうか」は、単なる個人や企業の生き残りにとどまらず、日本民族の将来を左右する大きな課題です。

志ある地場の大工さん、工務店さん、木材業者さんのご参加をお待ちしております。

## 地場の木工さん、工務店さん、木材業者さんの

# 未来をつくるセミナー

# 8月25日

## 那須プランニングセンター

### 講師 小椋敏光

(株)オグラ代表 HSG講師

開催日時：平成28年8月25日（木）

午後1時00分～4時00分

開催場所：那須プランニングセンター

那須塩原市木綿畑字柴中2168-1 ☎ 0287-68-778

参加費：5千円 ※ 当日会場にてお支払い下さい。

◎ 参加ご希望の方は下記にご記入の上、

8月20日迄に(株)山森宛お申込み下さい。

送付先FAX：0294-35-2135

◎ お問い合わせ ☎ 0294-36-1521

(株)山森 担当：森秀明



J R 那須塩原駅より車で15分 駐車場あり。

会社名		TEL	
ご住所	〒	FAX	
お名前		役職	
		お名前	
		役職	

主催：全国組織住宅環境研究グループHSGホームースタディグループ北関東地区委員会  
 共催：NPO法人幸せな家庭環境をつくる会・ホームースタディグループ・全日本住宅環境連盟  
 本部：東京都港区芝2-26-5 ☎ 03-3451-2445 FAX 03-3451-2486 <http://www.homyhome.jp>

# このチラシを読んでくださった方への

## 15の提言

住宅環境研究グループHSG創設者  
(故)富田辰雄のご紹介



富田辰雄博士(1928-2010)

エール大学教授ハンチントン博士の環境理論に傾倒し住宅環境と家族の関係を追究、1966年「幸福を生む住まい」の住宅理論を確立。1981年HSG創設。1999年日本文化振興会より社会文化功労章、I・A・Eユニバーシティより環境工学博士号受章。2001年NPO法人幸せな家庭環境をつくる会設立初代理事長に就任。著書に「幸福を生む家の建て方」(PHP出版)「木造住宅施工読本」(日本住宅新聞社)他多数。



- ① 生きるのに必要なものはほんの少しの勇気と思いやり、そして出会いです。
- ② 時代が変わっても、常にお客様が求めるものは、正直な心と自信、そして信念です。今、自分の心のなかにあるのだろうか。
- ③ 住宅について正しい考え方を持つことがプロとしての最低条件です。「住宅とは何か」をはっきり言葉にできますか？
- ④ お客様がなぜ家を作るのか知っていますか？ お客様も気がついていない本当の理由を、私達が引き出して上げることが大事です。
- ⑤ 「良い住宅とは何か」をはっきり言えますか？ また、あなたの考える良い住宅は、世の中のニーズを反映しているでしょうか。
- ⑥ 建物を作ることが仕事、しかし家族の幸せを作っていることを意識していますか。
- ⑦ 「家族の幸せを作る家づくり」の具体的方法をご存じですか。単なる宣伝文句では意味がありません。
- ⑧ 工務店が楽しく仕事をやるコツは、欲しがるよりも「上げる」こと、「与える」こと。
- ⑨ リフォームとは、古いものを新しくする、不便だから便利にするということを超えたものです。つまり家族の運命を改善することです。その具体的方法とは？
- ⑩ 大工さんは施主様ご一家の将来まで心配して仕事をするものです。それはなぜですか。
- ⑪ どうしたらできますか？
- ⑫ 今、地場の業者さんをごんじがらめに行っている法規制に打ち勝つ方法を知っていますか？
- ⑬ 大手と比べて確かに我々は非力ですが、それでも生きていける道があります。それは一言で言えば、私達にしかできないことを追求し、システム化することです。
- ⑭ 家族が健康、健全に暮らすには、木材がどうしても必要なのです。材木屋さんがこのことを地場で訴えることが、そのまま生き残りにつながります。
- ⑮ お客様の木への憧れは、乾いた喉が水を求めるような心情です。材木屋さんはそれに応えてきたでしょうか。材木屋さんは地場の大工さん、工務店さんを指導し、住まいに木の香りを絶やさないうようにするのがその役目です。それを果たすにはどうしたらよいのでしょうか。